環境経営レポート

（第 47 期）

（2022 年 10 月 1 日～2023 年 9 月 30 日）

作成日　　2023 年 12 月　10 日

会社名　　有限会社　　吉岡製作所

住所　〒387-0007　長野県千曲市屋代 3040-5

発行責任者　代表取締役　吉岡　政明

連絡先　TEL　026-272-5729　FAX　026-272-4100

e-mail　Yoshioka-ss@ba.wakwak.com

目　次

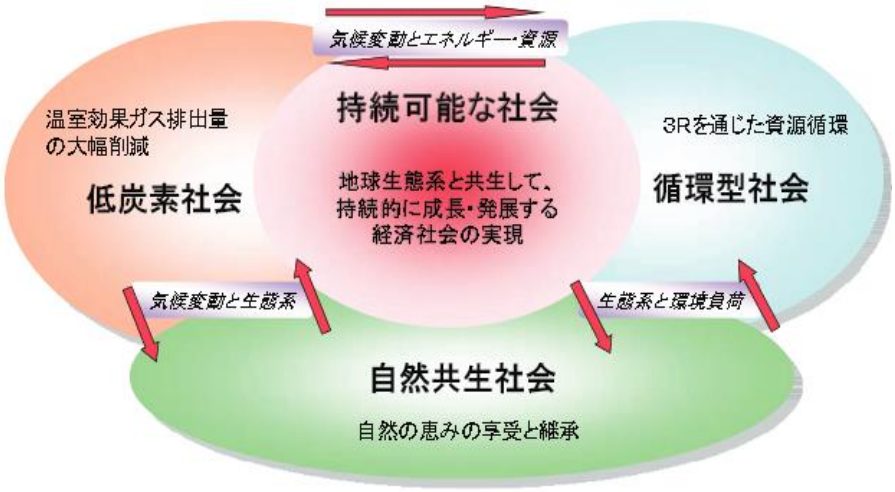
１．組織の概要（対象範囲）
２．事業の概要
３．マテリアルバランス

４．環境経営方針
５．　SDG s の登録
６.コンプライアンス宣言
７．環境経営目標の設定、その実績と評価、当年予測と次年度目標
．環境経営目標を達成する実施体制
８．環境経営計画の取組内容及び次年度環境経営計画の取組内容

９．主な環境関連法規の遵守状況の評価、並びに違反、訴訟の有無
10．環境上の緊急事態の想定及び訓練記録
11．社内コミュニケーション
12．　CO2 排出量削減にあたって
13．　表彰等
14．代表者による全体の評価と見直し、指示

持続可能な社会を目指しています（環境保全活動）

図：持続可能な社会に向けた取組（統合的取組の展開）



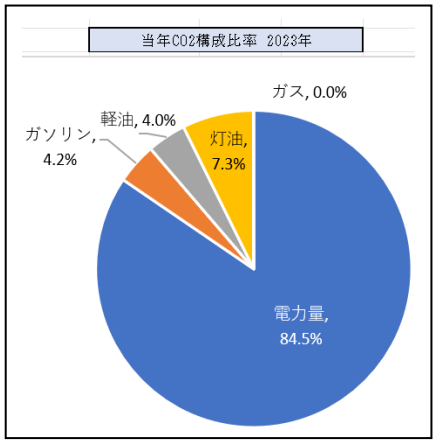
（出典）21世紀環境立国戦略（平成19年6月1日閣議決定）

1．組織の概要

事業所名	有限会社吉岡製作所
代表者名	吉岡　政明
事業所の所在地	長野県千曲市屋代 3040-5
事業内容	油圧部品加工　金属切削加工
設立、資本金	設立　1977 年 1 月 28 日　資本金　300 万
エコアクション 21 ・対象 ・管理責任者 ・連絡先	 ・適用範囲　全組織・全活動 ・管理責任者　吉岡　政明 ・連絡先　TEL　026-272-5729　FAX　026-272-4100

2．事業規模

		基準年	前年	当年 予測
		2017年	2022年	2023年
売上高	千円	68,618,486	50,691,092	49,604,980
生産高	㎡	0	0	0
人員	人員	6	6	6
延べ床面積	㎡			



3． マテリアルバランス

インプット　　マテリアルバランス　　アウトプット

＜エネルギー使用量＞

		2022年前年	2023年予測
電力量	kWh	137,427	138,785
ガソリン	ℓ	1,666	1,254
軽油	ℓ	911	1,074
灯油	ℓ	1,640	2,042
ガス	㎥	11	9
A重油	ℓ	0	0

＜物質他 使用量＞

原材料	0	0	0
水使用量	㎥	36	36
化学物質	kg	0	0

2023年 期末予測

＜事業活動＞
・工程設計プロセス
・製造プロセス
・購買プロセス

有価物	kg	0
グリーン購入	件数	0

＜生産量＞

		2022年前年	2023年予測
製品	0	0	0
有価物	kg	0	0

＜環境負荷＞

CO2排出量	kg-CO2	68,591	69,630
水使用量	㎥	36	36
一般廃棄物	kg	825	1,035
一般特管	kg	0	0
産業廃棄物	kg	4,800	6,040
産廃特管	kg	0	0
化学物質	kg	0	0

環境経営方針

経営理念

吉岡製作所は、金属機械加工を通して、「地域に迷惑をかけない（環境保全)」と「付加価値（品質、生産性）向上」を基本に、「安心」と「信頼」を提供すると共に持続可能な社会づくりに取組みます。

環境方針

「よい会社づくり」を目指し、「一人ひとり稼ぐ組織」づくりのための継続的改善を全員で進めます。

１）環境関連法令の遵守、適正管理に取組ます。
２）二酸化炭素削減（特に電力削減）に取組ます。
３）産業廃棄物削減に取組ます。
４）節水に努め総排水量削減に取組ます。
５）生産性向上に取組ます。
６）どなたでも環境経営方針を入手できます。

2017 年　9 月 20 日　制定

会社名　　有限会社　吉岡製作所

代表者氏名　吉岡　政明

sDGs達成に向けた経営方針等

社員一人ひとりの笑顔が企業の活性化と持続的成長に繋がると考え環境負荷低減に配慮しながら、
社員が笑顔で働ける職場環境の整備と技術レベルを高める活動を進めます。
健康を維持し、高齢になっても働き続けられる会社作りに努めます。

取組・内容

エコアクション 21 の活動に沿って省エネ.CO2削減に努めます
CO2 排出量 10 パーセント削減
労働生産性の向上
外国人、障害者、高齢者に該当する社員の比率を引き上げます。

進捗状況
2023.12 月　工場内照明すべて LED 化
外国人労働者、高齢者の比率が全体の 28 パーセント

2030 年に向けた指標

自動化の推
再生可能エネルギーに切替

独自の取組

コミュニケーション能力をつけるため、毎日の朝礼で全社員が交代で司会を務め、発言する場を設けている。

2023.12.10

有限会社　　吉岡製作所

代表取締役　吉岡　政明

＊　パートナーシップ構築宣言を登録
＊　事業継続力強化計画認定

6．コンプライアンス宣

有限会社　吉岡製作所は、企業（事業パートナーも含む）として、
以下のコンプライアンスを遵守し、活動することを宣言します。

1)【法令の遵守】 関連法令を遵守し、事業者、社会人として良識ある行動をします。
2)【差別の禁止】 性別、年齢、障がい。国籍、出身などの差別はしません。
3)【ハラスメント禁止】 セクハラ、マタハラ、パワハラ等のハラスメントをしません。
4)【労働時間】 過度な長時間労働の防止をします。
5)【外国人労働者】 外国人パートナーに対する差別、人権侵害をしません。
6)【労働安全衛生】 安全で衛生的な労働環境で作業をします。
7)【メンタルヘルス】 事業パートナーともメンタルヘルスを良好に保ちます・
8)【ダイバシティ】 多様な人材の事業パートナーとも活動します。
9)【人材育成】 事業パートナーも含め教育訓練の機会を設けます。
10)【公正な待遇】 同一労働同一賃金の原則に従い対応します。
11)【健康経営】 健康が事業活動の基本と捉えています。
12)【廃棄物】 廃棄物は適正管理をします。
13)【エネルギー・温室効果ガスの現状把握】 マテリアルバランスで把握します。
14)【有害化学物質】 PRTR 法による有害物質の使用はありません。
15)【生物多様性】 生物多様性や生態系へ悪影響を及ぼさないよう活動します。
16)【3Rの推進】 リデュース、リユース、リサイクルに取組みます。
17)【水の管理】 水のムダ遣いに注意し、活動します。

2019/10/01
(有)吉岡製作所
代表取締役　　吉岡　政明

7. 環境経営目標の設定、その実績と評価 当年予測値と次年度目標

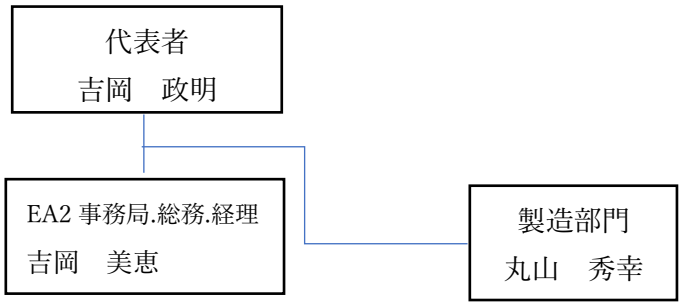
評価 ○100%達成、△95%達成、 ×95%以下

			<---決算	第47期	------->	<------	第48期	------->	
環境経営（環境評価）		基準年実績	前年目標	前年実績	目標対比	当年目標	当年予測	目標対比	3年度後目標
項目	単位	2017年	2022年	2022年	実績評価	2023年	2023年	予測評価	2026年
CO2排出量	kg-CO2	72,140	70,000	68,591	○	70,000	69,630	○	70,000
CO2/売上高	kg-CO2/百万	1,051	1000	1,353	✖	1000	1,404	✖	1000
光熱費	千円	4,130,670	4,100,000	4,079,247	○	4,100,000	4,530,329	✖	4,100,000
電力量	kWh	141,540	130,000	137,427	✖	130,000	138,785	✖	130,000
ガソリン	ℓ	3,420	2,000	1,666	○	1,700	1,254	○	1,700
軽油	ℓ	0	2,000	911	○	1,400	1,074	○	1,400
水使用量	㎥	42	60	36	○	60	36	○	60
一般廃棄物	kg	180	1,000	825	○	1,000	1,035	△	1,000
産業廃棄物	kg	6,200	7,000	4,800	○	7,000	6,040	○	7,000

CO2 排出量係数　2019 年度中部電力ミライズ 0.424

環境経営目標達成の実施体制

エコアクション21（EA21）環境活動の実施体制　　作成日　　2023 年 12 月 10 日



EA21 組織の役割と権限

代表者	環境マネジメントシステムの最高責任者 ・環境経営方針の策定 ・EA21 運用に必要な経営資源（人、資金、機器設備）の提供 ・環境経営レポートの承認 ・EA21 全体の有効性の評価、見直し、改善の指示
環境管理責任者	環境経営マネジメントシステムの構築、運用、見直し ・EA21 の手順の確立、環境経営レポートの策定、 ・環境への負荷と取組状況の把握と評価 ・環境経営目標、環境経営計画の取りまとめ、代表者へ実施状況の報告 ・緊急事態の想定と訓練、環境関連法規の特定と遵守、教育の計画と実施
部門責任者	環境方針の周知 ・環境経営目標を達成するための環境経営計画の策定と評価（ＰＤＣＡ） ・職場のチームワークによる環境負荷の低減、生産性向上の改善活動の指揮
全従業員	環境経営方針の理解と地域に迷惑をかけない（環境保全）自律的行動 ・良い会社をつくるために、環境負荷低減と生産性向上に積極的に参加する

8. 環境経営目標・計画の評価と次年度環境経営への取組計画

評価基準　○100％達成　△95％達成　✖95％以下

分類	環境目標項目	前年度　経営環境への取組の活動 2022 年 10 月～2023 年 9 月			当年度環境への取組の計画 2023 年 10 月～2024 年 9 月	
		評価	前年度計画	評価コメント	当年度計画	担当
二酸化炭素削減	1) 総 CO2 排出量	○	工場内の照明 LED 化	12 月に実施	ペーパーレス化	吉岡
	2) 電力削減	×	作業時間以外の消灯の徹底 休憩時間のこまめな消灯 エアコンの温度設定を 事務所　夏 27℃　冬　23℃ 工場　　夏 30℃　冬　20℃	こまめな消灯は徹底できた。 猛暑だった為、エアコンの稼働時間が長かった	引き続き実施	全　社員
	3)ガソリン	○	配送ルートの効率化	軽トラックを有効活用	引き続き実施	吉岡
	4)軽油削減	○	前年より削減	おおむね達成	引き続き実施	全　社員
	5)灯油削減	○	温度に注意する	おおむね達成	温度に注意する	全　社員
	6)一般廃棄物削減	×	ペーパーレス化	請求書、納品書などの電子化を実施	引き続き実施	吉岡
廃棄物削減	7)産業廃棄物削減	○	産廃ゴミの分別 廃棄物処理業者の契約、マニュフェスト管理の徹底	分別。管理の徹底は達成。	引き続き実施	吉岡
その他環境負荷削減	8)水使用量	○	各自節水に努める 水道使用削減	おおむね達成	各自節水に心がける	全　社員
	9)金属端材	○	種類識別注意 仕損品の削減 発注ミスの注意	おおむね達成	引き続き実施	吉岡
	10 グリーン購入	△	SDG s の継続	達成	SDG s の理解を深める	吉岡
	11)環境関連法令の遵守	○	環境関連法の整理確認 関係機関に確認	最新情報を確認したが問題なし	環境関連法の整理確認 関係機関に確認	吉岡
環境負荷削減支援業務	12)環境教育	○	SDG s の継続 毎週金曜日工場内掃除	達成	理解を深める 達成	全　社員
	13)緊急事態想定し対策訓練を行う	○	年一回連絡網チェック 年一回の避難訓練	おおむね達成	年 1 回の連絡網確認 年 1 回避難訓練実施	全　社員
	14)生産量/人	△	工数削減に努める	おおむね達成	引き続き実施	全　社員
生産性向上	15)残業時間削減	○	残業時間削減	達成	引き続き実施	吉岡
	14)クレーム　ゼロ	○	基本動作の徹底	達成	引き続き実施	吉岡
	14)社内不良削減	×	原因追究の研修	チェックシートをつける。 朝礼時に話し合う。	引き続き実施	全　社員
	15)工具費削減	○	刃物交換頻度の教育 加工条件の研究	おおむね達成	引き続き実施	吉岡
	16)　消　耗　品（モップ）	○	週一回工場掃除	おおむね達成	引き続き実施	全　社員

9．主な環境関連法規の遵守状況の評価、並びに違反、訴訟の有無

遵守の評価　令和５年 12 月 10 日　　責任者：　吉岡　政明

環境関連法規	遵守事項	評価	責任者
廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・適正処理の徹底 ・契約書、マニュフェスト、帳簿の記載、報告 ・許可変更時。更新時の適正処理 ・水銀に関する廃棄物の適正管理	○	吉岡
フロン排出抑制法	・フロン使用機器の点検、漏洩防止、点検記録の保持	○	吉岡
労働安全衛生法	・有資格者、危険物、健康診断	○	吉岡
省エネ法	・省エネの努力義務	○	吉岡
消防法	・少量危険物の貯蔵届出	○	吉岡

※管理責任者による遵守状況の評価の結果、環境法規制等の逸脱はありません。地域及び当年の関係当局からの訴訟及び苦情及び過去３年間に渡って訴訟及び苦情はありません。

10．環境上の緊急事態の想定及び訓練記録

緊急事態の想定	手順	訓練	訓練実施日	事故（いつ、状況、対応策の検証
緊急連絡網	緊急連絡網図	年１回確認	R5.1	なし
避難訓練、消火訓練	緊急時避難経路図 消火訓練手順書	朝礼時に実施	R4.11	

・避難訓練では地震や火災の時にどんな行動をとればよいか、マニュアルを配り
地震の際は、落下物がなく横から物が倒れてこない場所へ移動する等、避難経路、避難場所の確認等の見直しを行なった。

中小企業庁が創設した事業継続力強化計画の認定を取得し、災害が発生した時を想定し、データーの保護、事業活動に与える影響等の対策を話し合った。

11．社内コミュニケーション

会議体	内容	いつ	責任者
朝礼	・日常業務連絡事項 ・品質及び環境の情報の共有化 　・顧客からの情報 　・品質及び環境の不具合問題の原因追求及び対応 ・社員教育 　・法規制の順守 　・品質及び環境目標、実施、評価、対応（ＰＤＣＡ） 　・５Ｓ、作業安全	毎日	吉岡
代表者による見直し	EA21 に基づく環境経営全体の有効性の評価 方針、目標、計画及び実施体制について評価 必要な方策の指示をする。	年１回全体会議で	吉岡

12. CO2 排出量削減にあたって

照明設備省エネ化実施

長野県中小企業エネルギーコスト削減助成金を使用し、工場内の照明を LED 化

照明器具 40 台を 2023 年 1 月に取替。
社内の全照明をＬＥＤ化に変更して消費電力を抑制

ペーパーレス化への取り組み

請求書、納品書などを電子化。

コピー用紙や、トイレットペーパーなどは、再生紙の使用を心掛ける

13.　表彰等

【総合優秀賞を受賞】

2019年4月19日、主要取引先である
仁科工業株式会社様による、協力会総会において、
総合優秀賞を受賞しました。

【2018年度優良取引先を受賞】

2019年4月26日、主要取引先であるKYB-YS株式会社
様より優良取引先として表彰されました。

【事例発表】

2019年6月22日、EA21セミナーにおいて
認証・登録までの事例発表をしました。

14.代表者による全体評価と見直し、指示

項目	評価 ・ 結果	見直し指示
環境方針 目標 活動計画	工場内の照明をLED化を実施	引き続き、目標通り 『良い会社作り』に取り組む
取組状況の確認 問題の是正	工程内及び社内不良の発生・流出防止については改善が必要	取引会社からの品質管理の基準が年々厳しくなっており、改善方法を継続・検討する事
緊急事態 避難訓練 消火訓練	異常なし	前年度と変更なし
実施体制及び設備	設備の老朽化により、修理の度合いが多い1年になった	取説書を活用して機械の保全に関する知識を全員で勉強する
法令、 その他要求事項	違反、苦情等の報告無し。	条例、法規の調査手段を明確にする事。
代表者による全体のコメント	毎年の環境負荷低減活動は、前年の環境目標実績以下を目指す。 本業のクレーム、社内不良削減を重視し、是正処置・効果・教育を最優先する。 EA21環境経営システムの主要活動は継続する。	

2023/12/10　吉岡　政明

ものづくりネット千曲　ホームページにて弊社の紹介ページを作成
https://monodukuri-net-chikuma.com/有限会社吉岡製作所